

三十石と異風料三十石とを受けた。後御異風を免ぜられ、延寶八年歿。子孫相繼いで藩に仕へる。

フクジュアン 福壽庵 珠洲郡吉ヶ池臨濟宗法燈派吉祥寺の境内に在り、吉祥寺十四代梅庵の創建に係るものであつたが、今は存せぬ。

フクジュイン 福壽院 金澤卯辰に在つて、正法山と號し、祇園社の別當で眞言宗に屬した。元和二年祐譽之を三社町に創建し、寛永十八年小尻谷に移り、萬治二年馬坂上に轉じ、寛文九年命により寺地を返上し、十一年替地を卯辰に賜はつた。明治元年神佛混雜禁止の後、本地佛等を小立野寶幢寺に遷し、當院を廢した。

フクシユウコウチ 福州光智 石川郡曹洞宗大乘寺二十二代の住持。超山閻越の法嗣で、寛文四年八月廿一日歿。

フクシユウトウエイテン 復讐藤英傳 内容は十五巻になつて居るが、一冊若しくは二冊に綴られて居る。天保九年近藤忠之丞が、その實父雲田忠太夫の仇山本孫三郎を討つたことを、小説風に書いたもの。著者は後山亭雲山人とある。また天保復讐名産加賀笠と題したのも、略これと大同小異である。

フクシヨウイン 福昌院 加賀藩祖前田利家の子孫四郎利政の法號。詳しくは福昌院怡伯宗悦居士。

フクシヨウウジ 福聖寺 ↓フクシヨウウジ 福正寺 (石川)。

フクシヨウウジ 福正寺 石川郡中興郷に屬する部落。村名は福聖寺があつたに因る。隆涼軒日録永享七年七月十九日賀州福聖寺新命宗縁首座など、見える。

フクシヨウウジ 福正寺 石川郡鶴來に在つて、眞宗東派に屬する。もと信濃國上水内郡三水村に居たが、明治四十三年三月今の地に移つた。

フクシヨウウジ 福正寺 鳳至郡合鹿に在つて、眞宗東派に屬する。能登各跡志に『田中といふ散村に、福照寺とて一向宗の大寺あり。』と記する。福照寺は福正寺の誤である。

フクシヨウウジ 福正寺 珠洲郡杉山に在つて、眞宗東派に屬する。

フクシヨウウジ 福勝寺 鹿島郡向田に在つて、眞宗東派に屬する。

フクシヨウウジ 福勝寺 鹿島郡鶴浦に在つて、眞宗東派に屬する。

フクセインジ 福馨寺 羽咋郡江添に在つて、眞宗東派に屬する。

フクセインジ 福千寺 河北郡木越にあつて、眞宗東派に屬する。初め道場で、明治二年から寺號を公稱した。境内に五色梅といふがあるを以て、名を知られてゐる。↓ゴシキウメ五色梅。

フクセインジ 福専寺 羽咋郡福浦に在つて、眞宗東派に屬する。

フクセインジ 福善寺 羽咋郡神子原に在つて、眞宗西派に屬する。

フクセインジ 福善寺 鳳至郡黒島に在つて、眞宗東派に屬する。山號は高野山。

フクソウイン 福藏院 ↓ホウライジ 寶來寺。

フクダ 福田 鹿島郡高島庄に屬する部落。フクダイシ 福田石 江沼郡下福田から産する石材。石英粗面岩質の砂質凝灰岩で、黄色又は黄色を帯び、軽い。

フクダイチザエモン 福田市左衛門 前田利家に仕へて百五十石を領した。子孫藩に世襲する。

フクダガハ 福田川 江沼郡大聖寺川の一部で、上流では大日川・山中川・敷地川といひ、福田領から下流を福田川といふ。天文廿四年七月廿四日附朝倉宗滴の書翰に、宗滴が加賀の一揆を福田川に追入れたとある。

フクダシヨウ 福田庄 江沼郡に在つた。弘安十年十月十一日北條相模守等の裁判書に『加賀國熊坂庄云々、福田庄云々。』元弘三年六月の狩野文書に『加賀國福田庄菅浪郷總領地頭兼管生社神主狩野彦五郎頼廣』と見え、又永正三年十月の室町家内書案には、『松梅院禪能知行分加賀富羅福田兩庄云々』とあつて、北野社領があつた。福田の庄號は今廢して傳はらぬが、上福田村・下福田村は之に當るものである。

フクダバシ 福田橋 江沼郡上福田にある。古圖に、今の福田橋より稍下りて大聖寺に通ふ橋を記し、桃井直常がこの橋から名越時兼の陣に夜討したとある。正保頃から今の位置になつたと言はれる。

フクダハチエモン 福田八右衛門 慶長十一年父新八の遺知百五十石を襲ぎ、十五年百十石、元和三年百四十石を増し、大小將に列し、九年歿した。

フクダハラフクエモン 福後福右衛門 藩政の時、正月初に來た膳内の物貰ひで、小さ

き依に繩を附して携へ、之を屋内に投げこんで家運の繁榮を祝するものであつた。

フクダヒテナガ 福田英長 通稱安太夫。初め御居間方坊主より出で、御歩となり、元文四年新知百石を得て組外に列した。子孫相繼いで藩に仕へる。

フクチャ 福茶 藩政の頃節分及び年越の夜には、家人等が集つて福茶を喫した。茶釜に投ずる熬大豆の数は、十二個又は七個で家の慣習により、別に山椒の實を投ずるもあり、茶は茶袋に入れて釜に浮かされた。豆木を焚いて湯を沸かし、その蒸氣によつて茶釜の蓋の鳴るとき『錢米錢米』と祝言を唱へてその音に和した。茶を柄杓で汲む時、その熬大豆の入るものは、福運を得るとせられたのである。

フクトクチヨウジャ 福徳長者 江沼志稿に福徳長者の居址を江沼郡弓波に在るとし、北陸道坂母には福徳長者の名を松尾信高としてゐる。素より何人であるか判らない。

フクトミ 福留 ↓フクトメ 福留。

フクトミチヨウ 福富町 ↓ミントクジマ 珉徳寺前。

フクトミユキキヨ 福富行清 平左衛門と稱し、織田信長の臣。天正八年信長、行清を富木に置き、菅屋長頼・前田利家と共に能登の州事を掌らしめた。

フクトメ 福留 石川郡山島郷に屬する部落。もと福富であつたが、草體から轉じたのであらう。三宮古記の近年水引神人沙汰進分事條に『河より南方寺井・安宅・福富』とあり、その河とは手取川のことであるから、水路が今と違つてゐたのであらう。この條は正